

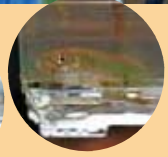
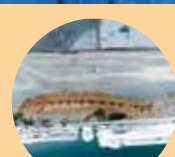
うおづ水辺の調査隊

うおづ水辺の調査隊の子どもたちが熱心に観察しているのは、魚津水族館に展示してある川にすむ生きものたちです。子どもたちの目は真剣そのもの。じつは、数日後に川へ生態調査に行くための事前学習なのです。調査地は片貝川支流の親子川。自然環境がふんだんに残っている川で、網とバケツを手に水辺の生物の採集開始です。生きものすむ場所がよくわかり、水の記憶とともに一人3匹ずつの魚を持ち帰って水族館の水槽で飼育しました。



魚津水族館
学芸員 伊申祐紀さん

川へ来ると、子どもも大人も夢中になる。水辺にはそんな不思議なチカラがあります。サワガニ、カワムシ、タカハヤなど、富山ではごく普通に棲息しているこれらの生きものも、全国的に見るとたいへん稀少なもの。身近に生きた図鑑があるわけです。



よく見て！口のカタチや背びれの位置で、種類が見分けられるよ。



水質調査で、親子川は汚れていないことを確認。



川へでかけるまえに、まずは事前学習を！



親子で川を調査！
どんな生きものに会えるかな？



自分だけの水槽を水族館に展示したよ！



環境を守るには、まず環境を知ることからです。

魚津水族館
館長 稲村 修さん



川がキレイだから、たくさんの生きものがすめるんだね。



水辺は生きている図鑑、心とカラダで生きものにふれよう。